

留学生の学生生活・市民生活支援事業

国際教育交流センターアドバイジング部門

柴 垣 史

留学生の、学生としてまた市民としての生活を支援するために、以下の要領でオリエンテーションやワークショップを行なった。

〈生活適応支援〉

オリエンテーションの一環として、健康、生活面での有用情報を提供したり、交流会を開催したりした。

- ・健康教室・健康相談会(保健管理室と協力)5/11, 5/18
- ・防災交流会(各学生寮入居者と寮関係者対象)レジデンス山手(11月), レジデンス妙見(1月)に開催
- ・引越しオリエンテーション(教育交流部門と協力)6/27, 6/29, 12/11, 12/12
- ・確定申告セミナー(名古屋税理士会講師による)2/27午後2回(50名)
- ・確定申告セミナー冊子改訂

〈進路探求支援〉

日本で就職して5-10年ほど経つ名古屋大学元留学生を講師として招き、卒業生・内定者・就職希望者交流会を開催した。2/22(20名)

〈家族支援〉

NUFSA 留学生の家族のための日本語コース春・秋学期各28回ずつ(日本語講師および託児ボランティアによる開催)の運営支援を行なった。

〈日本文化学習支援〉

日本文化講座の教材化として着物講座の冊子を完成させた。

ケンブリッジ大学生短期研修プログラム, NUSTEP, 全学教養科目授業と連携する他, 従来の国際教育交流センターワークショップとして, 各日本文化講座講師に複数回講義を行って頂いた。また, 名大茶道部との共修により茶道講座を企画・実施した。授業等の連携による講座の必要経費の一部は本事業以外から支出された。

- ・華道5-6月, 10-12月各第三火曜日(各13名)
- ・折り紙6/4(5名)
- ・書道5/8, 7/10, 10/29(ケンブリッジ大短期プログラム, 教養科目授業連携 各25名)
- ・着物7/12, 2/12(ケンブリッジ大短期プログラム, NUSTEP 連携 各25名)
- ・茶道2/18(15名)

本事業の実施により, 本学在籍留学生の入学直後から適切な時期に, 専門性をもった情報提供者, 講師などによる各種セミナーや講座を開催し, それらの参加者間での交流の機会を提供したことにより, 留学生の新しい環境への不適応を軽減させ, 彼らが人々と信頼関係を築きながらより積極的に学内外での生活を送れるよう支援することができた。

新たな試みとして, 名大の茶道部と茶道講座を開催した。企画の段階でアドバイジング部門スタッフ, 茶道部学生, 通訳の留学生の共修の場となり, 講座後は, 興味をもった留学生が茶道部の活動に参加するなどの交流のきっかけともなった。